



国文学者 井本農一氏の展示コーナーを設置しました（新南陽図書館）

新南陽図書館では、今年が本市ゆかりの国文学者の井本農一（いもと のういち）氏（1913年～1998年）の生誕110年にあたることから、新たに展示コーナーを設け紹介しています。

展示は、旧新南陽市において「市民栄誉賞」を受賞され、その後、新南陽総合支所（旧新南陽市役所）で展示されていた資料を整理し、新たに図書館内に展示したものです。

井本氏は、市内富田地区出身の小説家 青木健作（1883年～1964年）の長男として生まれ、1936年、東京帝国大学卒業後、お茶の水女子大学などの教授を経て、1984年から4年間、実践女子大学学長を務められました。

国文学者として、特に松尾芭蕉を中心とする俳諧の古典研究や現代俳句に優れた研究成果を残され、主な著書に「芭蕉入門」、「芭蕉と俳諧史の入門」、「季語の研究」、句集「遅日の街」などがあります。

新南陽図書館では、郷土の文学者として著書をはじめとする資料を収集しており、「郷土資料コーナー」で閲覧することができます。